

平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月13日

上場会社名 株式会社アエリア 上場取引所 東
 コード番号 3758 URL http://www.aeria.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小林 祐介
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)清水 明 (TEL)03(3587)9574
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(証券アナリスト向け)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日~平成26年6月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	603	50.6	△536	—	94	—	57	—
25年12月期第2四半期	400	△87.1	△294	—	△393	—	△352	—

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 △66百万円(—%) 25年12月期第2四半期 △271百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	11 78	11 74
25年12月期第2四半期	△71 81	— —

平成25年7月1日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	3,900	3,556	87.8
25年12月期	4,061	3,657	87.2

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 3,423百万円 25年12月期 3,540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0 00	—	10 00	10 00
26年12月期	—	0 00			
26年12月期(予想)			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 平成26年12月期の期末配当予想については未定としております。

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日~平成26年12月31日)

平成26年12月期の業績予想については、現時点で合理的な算定が困難であるため、未定とし記載しておりません。詳細は添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社、除外 — 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年12月期2Q	5,299,200株	25年12月期	5,299,200株
-----------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

26年12月期2Q	432,200株	25年12月期	435,700株
-----------	----------	---------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年12月期2Q	4,864,014株	25年12月期2Q	4,905,800株
-----------	------------	-----------	------------

平成25年7月1日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年1月1日～平成26年6月30日）におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により一部で弱い動きがみられるものの、政府の経済政策等の効果を背景として、企業収益に改善の動きが見られ、景気は緩やかに回復基調をたどっております。ただし、引き続き海外景気の下振れによる影響が懸念される等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属するオンラインコンテンツ関連市場におきましては、従来のPCオンラインゲームに加え、スマートフォンやタブレット端末の普及に伴う利用者数の拡大を背景に、Android/iOSをはじめとするプラットフォームの多様化が進み、引き続き成長を続けております。一方で、魅力的なコンテンツやアプリケーションを提供するため、サービス内容は複雑化・高度化する傾向にあるなど、開発費用や人件費等のコストが増加するだけでなく、企業間におけるユーザー獲得競争が一層激化しております。

このような状況の下、当社グループは、スマートフォン、タブレット等のモバイルコンテンツの開発事業並びにオンラインゲームの配信・運営事業を強化するとともに、幅広いユーザーへ向けたクオリティの高いサービスを提供して参りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高603,218千円（前年同期比50.6%増加）、営業損失536,229千円（前年同期は営業損失294,046千円）、経常利益94,472千円（前年同期は経常損失393,762千円）、四半期純利益57,320千円（前年同期は四半期純損失352,285千円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(オンラインコンテンツ事業)

オンラインコンテンツ事業につきましては、スマートフォン・タブレット向けゲーム並びにオンラインゲームの開発、配信及び運営を行っております。スマートフォン・タブレット向けゲームの課金収入が伸び売上高が増加しましたが、開発費、広告宣伝費等の積極的な先行投資により費用が増加しております。

以上の結果、売上高は276,173千円（前年同期比183.3%増加）、営業損失は575,209千円（前年同期は営業損失305,702千円）となりました。

(ITサービス事業)

ITサービス事業につきましては、インターネットの普及に伴うデータサービス事業を行う株式会社エアネットは安定した収益を獲得しております。

以上の結果、売上高は349,791千円（前年同期比8.8%増加）、営業利益は39,260千円（前年同期比183.4%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、3,900,021千円で、前連結会計年度末に比べ161,241千円減少いたしました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ15,737千円減少し、2,986,119千円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べ145,503千円減少し913,902千円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ1,068千円増加し、259,900千円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ61,108千円減少し、83,901千円となりました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の減少等により、101,200千円減少し、3,556,218千円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ33,019千円増加し、2,802,335千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は493,651千円(前年同期は242,077千円の減少)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の計上による増加要因があった一方で、貸付金の回収に伴う貸倒引当金戻入額の計上等の減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増加は573,934千円(前年同期は5,484千円の増加)となりました。これは主に減少要因としてソフトウェアの取得による支出がありましたが、貸付金の回収及び投資有価証券の売却による収入により増加しております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は34,871千円(前年同期は172,249千円の減少)となりました。これは主な減少要因として配当金の支払額があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の主力事業であるオンラインコンテンツ関連市場は国内外ともにその成長速度を予測することが難しいことや、新規タイトルのサービス開始や既存タイトルのバージョンアップなど、様々な不確定要素に収益が大きく左右されることなどから、現時点で合理的な算定が困難であるため業績予想の開示を見合わせます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,769,315	2,802,335
受取手形及び売掛金	87,369	132,562
商品	2,631	1,892
繰延税金資産	2,455	2,707
その他	141,510	48,103
貸倒引当金	△1,426	△1,480
流動資産合計	3,001,856	2,986,119
固定資産		
有形固定資産	79,691	82,676
無形固定資産	8,668	57,205
投資その他の資産		
投資有価証券	637,586	443,200
関係会社株式	266,167	266,409
長期貸付金	604,057	-
繰延税金資産	6,958	6,899
その他	73,001	70,279
貸倒引当金	△616,725	△12,769
投資その他の資産合計	971,045	774,019
固定資産合計	1,059,405	913,902
資産合計	4,061,262	3,900,021
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,001	18,140
未払費用	123,249	132,968
未払法人税等	17,760	22,638
賞与引当金	1,100	1,300
その他	89,721	84,853
流動負債合計	258,832	259,900
固定負債		
繰延税金負債	123,834	62,528
退職給付引当金	12,031	12,148
資産除去債務	9,144	9,224
固定負債合計	145,010	83,901
負債合計	403,843	343,802

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	236,772	236,772
資本剰余金	4,980,540	4,931,756
利益剰余金	△1,568,127	△1,510,806
自己株式	△401,400	△398,176
株主資本合計	3,247,784	3,259,544
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	245,930	126,807
為替換算調整勘定	46,928	36,759
その他の包括利益累計額合計	292,859	163,567
新株予約権	1,748	12,436
少数株主持分	115,028	120,670
純資産合計	3,657,419	3,556,218
負債純資産合計	4,061,262	3,900,021

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	400,573	603,218
売上原価	388,522	534,554
売上総利益	12,051	68,663
販売費及び一般管理費	306,097	604,893
営業損失(△)	△294,046	△536,229
営業外収益		
受取利息	10,826	5,208
受取配当金	125	8,754
為替差益	18,434	-
持分法による投資利益	-	3,731
貸倒引当金戻入額	-	604,057
その他	6,424	10,374
営業外収益合計	35,809	632,127
営業外費用		
為替差損	-	1,425
持分法による投資損失	66,024	-
貸倒引当金繰入額	69,281	-
その他	220	0
営業外費用合計	135,526	1,425
経常利益又は経常損失(△)	△393,762	94,472
特別利益		
固定資産売却益	1,000	-
投資有価証券売却益	51,155	9,830
関係会社清算益	-	701
特別利益合計	52,155	10,531
特別損失		
投資有価証券評価損	-	26,258
減損損失	2,583	-
特別損失合計	2,583	26,258
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△344,190	78,745
法人税、住民税及び事業税	7,730	15,975
法人税等調整額	△1,639	△192
法人税等合計	6,090	15,783
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△350,281	62,962
少数株主利益	2,004	5,641
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△352,285	57,320

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△350,281	62,962
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	88,946	△110,633
為替換算調整勘定	30,022	△10,168
持分法適用会社に対する持分相当額	△40,085	△8,489
その他の包括利益合計	78,882	△129,291
四半期包括利益	△271,398	△66,329
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△273,402	△71,971
少数株主に係る四半期包括利益	2,004	5,641

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△344,190	78,745
減価償却費	27,117	38,720
減損損失	2,583	-
長期前払費用償却額	363	363
持分法による投資損益(△は益)	66,024	△3,731
貸倒引当金の増減額(△は減少)	74,248	△603,902
受取利息及び受取配当金	△10,951	△13,963
為替差損益(△は益)	△22,062	1,425
固定資産売却損益(△は益)	△1,000	-
投資有価証券売却損益(△は益)	△51,155	△9,830
投資有価証券評価損益(△は益)	-	26,258
関係会社清算損益(△は益)	-	△701
売上債権の増減額(△は増加)	△5,510	△45,192
たな卸資産の増減額(△は増加)	339	739
仕入債務の増減額(△は減少)	11,198	△8,861
その他	△6,244	39,543
小計	△259,239	△500,386
利息及び配当金の受取額	10,149	17,822
法人税等の還付額	15,866	6,608
法人税等の支払額	△8,854	△17,696
営業活動によるキャッシュ・フロー	△242,077	△493,651
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,136	△23,633
無形固定資産の取得による支出	△167,047	△107,255
無形固定資産の売却による収入	1,000	-
投資有価証券の売却による収入	179,575	105,765
関係会社株式の取得による支出	-	△5,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	92	-
貸付金の回収による収入	-	604,057
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,484	573,934
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	-	2,922
自己株式の取得による支出	△63,074	-
配当金の支払額	△109,175	△48,635
新株予約権の発行による収入	-	10,841
財務活動によるキャッシュ・フロー	△172,249	△34,871
現金及び現金同等物に係る換算差額	43,541	△12,392
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△365,301	33,019
現金及び現金同等物の期首残高	2,422,628	2,769,315
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,057,326	2,802,335

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計 (千円)	調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	オンライン コンテンツ (千円)	I T サービス (千円)			
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	96,097	304,475	400,573	—	400,573
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,403	17,030	18,433	△18,433	—
計	97,501	321,505	419,006	△18,433	400,573
セグメント利益又は損失(△)	△305,702	13,854	△291,848	△2,198	△294,046

(注) 1. セグメント利益の「調整額」は、セグメント間取引の消去△66千円及び各報告セグメントに帰属しない全社費用△2,132千円によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オンラインコンテンツ事業」セグメントにおいて、想定していた収益が見込めないため、一部のソフトウェアについて、その帳簿価額を全額減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当第2四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、2,583千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計 (千円)	調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	オンライン コンテンツ (千円)	I T サービス (千円)			
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	275,610	327,608	603,218	—	603,218
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	563	22,183	22,747	△22,747	—
計	276,173	349,791	625,965	△22,747	603,218
セグメント利益又は損失(△)	△575,209	39,260	△535,948	△280	△536,229

(注) 1. セグメント利益の「調整額」は、各報告セグメントに帰属しない全社費用△280千円によるものであります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、スマートフォン向けコンテンツの割合が増加したことに伴い、従来の「オンラインゲーム事業」を「オンラインコンテンツ事業」へ名称を変更しております。

また、第1四半期連結会計期間より、その他事業の重要性が乏しくなったため、当該事業に係る費用は全社費用として調整額に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント情報に基づき作成したものを開示しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。